

平成28年度 全国学力・学習状況調査 結果分析票

学校名: 志木市立 志木市立宗岡第二中学校 第 3 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語A	漢字の読みや語句の意味など、知識に関する設問では県や全国を上回るものもあった。また、解答率が0.0%の設問が18問と多いことから、解けそうな問題はきちんと解こうとする姿勢が窺えた。	正答率が県や全国平均を10%以上下回る設問が14問もあった。特に、話すこと・聞くことに関する設問が目立っていた。	これまでのスピーチの指導は、相手にわかりやすく、聞こえるようにという指導だったが、さらに資料を効果的に用いたり、提示するタイミングを考えさせたりなど、「相手に伝わる」ことを視点にする指導が必要だと感じた。また、単語のみではなく、文で伝える意識を、普段の会話から持たせるようにしたい。また、文章を正確に、しっかりと読み取り、使う指導を心がけたいと思う。
国語B	どの問題も平均を上回ることはなかったが、国語Aと同じように解答率が0.0%の設問が3問あった。	根拠を明確にして自分の考えを述べることや、自分に必要な情報を選びとって要約することなどに課題が見られる。	書く場面だけでなく、話し合いなどでも、根拠を明確にして自分の考えを示すような指導を継続する。また、多様な情報から必要な情報を選んだり、自分と結びつける指導を、新聞等を用いて行うのも有効だと考える。
算数 数学A	質問に対して、正答項目が少ないため成果としては見当たらず。	%やグラフから見る限りではほぼ全国平均に近い値をとっているが細かく見ると36問中上回ったのは2項目である。過去2年間から現在までの課題である文章の読み取りや図形から読み取る力が不足しているためこの結果となったと考えられる。	日々細かく指導し理解しやすい表現を直すことで理解を深めたいが、今後直面する数学の問題では平易な文章で書かれているわけではないので文章や図から読み取る努力をすることも指導したい。
算数 数学B	質問に対して、正答項目が少ないため成果としては見当たらず。	Aの主として知識に関わることと同様に概ね全国平均に近い値をとっているが、15問中上回ったのは1項目である。正答5問以下が52.5%(内38.3%が3問以下)9問以上が25.8%の結果から分かるように理解できていない生徒が半分以上いる結果と	やはりAと同様に読み取ることが出来ていないとその延長上にある活用は出来にくいものである。図やグラフ、式から分かることや表していることをしっかりと読み取らせることを今後の課題としたい。
児童 生徒 質問 紙	・基本的な生活習慣はおおむね良好である。特にボランティアの参加率が高いのは、生徒会を中心に呼びかけをしている成果だと思われる。・読書が好きで、1日30分以上読む生徒が7割近くいる。朝読書の取り組みから読書が定着したのではない	・家庭でゲーム、メール、インターネットに費やす時間が、県や全国の平均より長く、学習時間が短い。・授業の「ねらい」が示されていることは9割を超す生徒が当てはまると答えていたが、振り返りは7割に満たない。	・携帯、スマホの使用については保護者会などで取り上げ、各家庭に呼びかける。家庭学習の時間の確保も同じ。・教育相談期間の個人面談を通して、現状を把握、指導する。